

# 横田公民館だより

令和5年度

発行 横田公民館

発行日 令和 6年 3月31日

編集 教養部

## 横田公民館と横田地区

横田第六町会長 木下 和泉

現横田公民館は平成16年4月に竣工しました。二回目の建て替えだと思えます。大勢の方の寄付と公民館建設委員など役員の努力によるものです。北側の国有地を払い下げてもらい敷地が広くなりました。今年で二十周年となります。横田第三・五・六・七町会4つの共同公民館です。横田第一町会は単独で公民館があり、横田第二町会は以前ホテル末広の東側に公民館がありました。今はありません。当時横田第二町会も横田第三・五・六・七町会と一緒に五つの町会で公民館活動を行っていました。そのため公民館の予算は、維持管理費と公民館活動の2本立てだったそうです。



昭和12年12月 横田公民館と横田青年会

横田六つの町会の三役等による横田協議会という組織があり、防犯講座・カエル公園の清掃・横田全体の課題についての協議などを行っていますが、今年度より横田社会福祉協会は解散し、横田全体での敬老会は実施せず、敬老会は各町会での実施（中止）となりました。本郷村と松本市の合併以前には、村民運動会が本郷小学校グラウンドであり部落対抗で競技をしていました。現在横田全体で集まる行事はありません。何かそういった機会ができればと思います。横田神社の祭典等の活動も第二町会が岡宮神社のため5町会で行っております。余談ですが2月25日に横田神社本殿の東側にある拝殿で初稻荷様祭典があり氏子総代と町会長でお参りしました。横田公民館に対する各町会の公民館長・厚生部・教養部など役員皆さんの活動に御礼と感謝を申し上げます。

## コロナ禍後の公民館活動について

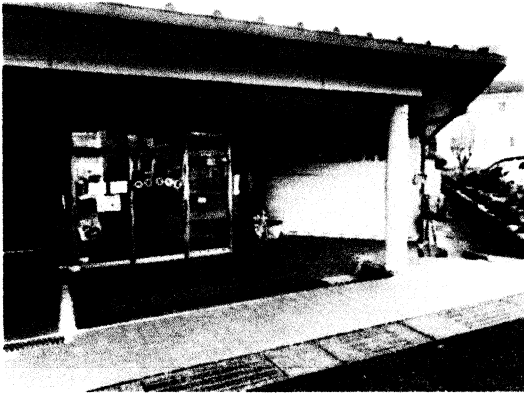
横田公民館長 田口 悦久

令和5年度の横田公民館2大事業「ふる里祭り」「文化祭」は、コロナ感染症が5類となった事もあり、従前に近い形で取組むことが出来ました。この3年間程、実施出来ずにいたことで再開するにも用具の再点検・清掃や調整作業と役員の皆様に多くのご労苦をお掛けし感謝申し上げます。また、このお休みの間にイベント開催の規則等が厳しくなり大変な苦労もありました。このため地域の皆様にもご理解願う場面もありました。この活動をしばらく継続するとしても、元旦の能登半島地震の発生で防災に対する取組の強化も痛感致しました。取り分け大災害になればなる程、地域の繋がりが日常から大切である事が理解出来ました。個別の町会毎の防災訓練から公民館を共有する4つの町会が、町会と合同で取組む様な事も考えたらと思います。公民館役員を含め町会での役員選出にご努力されている現状を踏まえ、従来の公民館活動も見直ししながら、新しい時代に対応した公民館活動を新年度にむけて住民の皆様とともに一緒に考えてみたらとも考えています。

## 地域に根ざした保育園を目指して

南郷保育園 園長 北野 小春

当園は、昭和24年に本郷村立のばら分園として発足、その後南郷保育所とし認可保育所となりました。昭和49年松本市と合併後、平成元年に南郷保育園と改名、95名の定員でしたが、徐々に園児数が減少しながらも、平成15年頃より近隣の住宅増や未就園児を対象とした園開放を開始するなどすることで、増加に転じてきました。平成20年に本郷地区福祉総合施設（南郷保育園、こどもプラザ、福祉ひろば）を新築し運営がスタートし、合わせて一時保育事業の指定園となっております。保育園を運営するにあたり、『仲間との育ち合いや地域の方々との交流の中で、生活や遊びの経験を豊かにし、一人ひとりを大切に育てる保育を目指して』を保育理念として日々の保育に取り組んでおります。保育園は、日々の子どもの気持ちに寄り添い、共感しながら、子どもが自ら物事に取り組み困難を乗り越えようとする力をつけ、友達とのかかわりの中で協力することの大切さや人の気持ちに気づくなど、様々な活動を通して発達を支援し、保護者の皆様とお子さんの成長を共有し合いながら保育をしております。また、今年度は心身ともに健康に成長することを願って、自然を保育に主体的に取り入れ、子どもの感覚を豊かに刺激し子どもの主体性、創造性、社会性、協調性などを育てまいりました。この3年間はコロナ対応で地域の皆様との交流も自粛しておりましたが、今年度より徐々に復活し、福祉ひろばのお年寄りの方を始め、ふくろうの家の利用者さん、本郷南幼稚園や児童館との交流なども行い、広く保育園を知っていただいております。また、園開放を年4回行い、未就園児の親子が直接園の様子を見たり園児と遊んだりすることで入園の選択の機会となっております。保護者の生活形態や要望に応え、早朝や延長保育、土曜希望保育、一時預かり事業など、幅広く保育を提供し、保護者の皆様が安心して就労ができる支援もしております。今後も地域に浸透し、皆様に保育園運営の理解をしていただくと共に貢献できる場としての関係でありたいと思っておりますので、今後も引き続きよろしくお願いたします。



横田松寿会スポーツサロン



松寿会 体育部副部長 宮澤一三

私は横田松寿会に入会して、2年が過ぎ会員と道路で出会う機会があり、にこやかな顔で挨拶をかわすと気持ちがほっこりします。さて スポーツサロンは毎月第四金曜日が基本で午後13時30分から横田公民館の講堂で開催しています。開催内容は、体を動かすピンポン(卓球)・ポッチャー・ラダーゲッタ・輪投げです。頭を使うのはオセロゲーム・トランプゲームを行なっています。役員の皆様は、開始前に卓球台やラダーゲッタなど準備をして頂きご苦労様です。女性の皆様にも、お茶・食べ物の準備等いつもありがとうございます。開始には部長さんのユーモアのある挨拶から始まります。お茶・お菓子を頂きながら身近な出来事や、屋根修理の怪しい業者の話題も有りました。一段落が過ぎた後、各自のやりたいピンポン・ポッチャー・オセロ・ラダーゲッタ・輪投げに挑戦して体や頭を動かします。運動で疲れてきた後は、定番のトランプゲームのババ抜きを行っています。先日私も参加してトランプを配る担当になりしっかりとトランプ切ったが、配ったところババカードが続いて自分のところ2回も来る偶然なことが有りました。結果は、ババが一周しさらに次に回り難を逃れることが出来ました。きっと皆さん運動している時、ゲームをやっている時は、日常を忘れて気持ちのリフレッシュに繋がっていると思います。町内の皆様、横田松寿会に入会しませんか、公民館は夏クーラーが入って涼しく、冬暖房で暖かく気分良く楽しむことが出来ます。

## 厚生部長を務めて

### 第七町会 厚生部長 小澤 加代

今年度初めて厚生部を務めました。厚生部として担当したのは7月30日(日)に開催されたふる里祭りです。子供を連れて参加したことは有りましたが役員として関わるのは初めてでした。コロナ禍後、久しぶりに開催が決まり、以前の変更点等を何度も打ち合わせしました。物品の手配や買い出しは担当を決めて、それぞれ準備して頂きました。普段のお仕事もある忙しい中、役員の方々は大変だったことと思います。今までは焼き鳥を販売していましたが手順の少ないフランクフルトへ変更しました。生ビールが用意出来なかったため缶ビールを冷やして用意しました。少し物足りなさを感じる方もいらっしゃると思いますが、フランクフルトは完売できました。例年と同じ企画としてはお子様向けのくじ引き、お菓子すくい、ヨーヨーでした。多めに用意したつもりでしたがこちらも見事に売り切れました。お子様からご年配の方まで、沢山の方ご来場頂き、楽しんでいる様子が見れてとても嬉しく思いました。当日の朝からテントの設営や会場の準備、ポップコーンの販売までお手伝いして下さった信大思誠寮の学生の皆さんにも感謝の気持ちでいっぱいです。最初は不安と心配しかなかった厚生部長という役目ですが、田口公民館長さんをはじめ役員の方々のご協力があり無事に終えることができました。この場をかりて関わって頂いた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。地域の活動に関われたことは、私にとっても良い経験となりました。



## 横田公民館「歌の会」と共に

### 第七町会 種山 武雄

歌と私は、幼いころの軍歌で始まり、それ以降はつねに歌に寄り添って来ました。40歳で初めて社会人の合唱団に参加し、演奏活動をするなかで合唱の素晴らしさと人とのふれあいの大切さを学びました。それ以降、歌を口ずさむ癖がついてしまい、妻からも“いつも何か歌っているんだね。”いわれてしまいます。そんな訳で、80歳を超えた今も、歌が好きで、横田公民館の「歌の会」や、福祉広場の「童謡唱歌の会」、あがたの森の「ラジオ歌謡を歌う会」などに所属し、歌い続けています。楽しんで歌うことは、精神的な安らぎを得ることはもちろんですが、皆さんご存じとは思いますが、認知症予防、高血圧、糖尿病の予防にも良いそうです。その上地域の人との交わりが、歌を通じて自然に進むこともありがたいです。さて、横田公民館の「歌の会」は、私も10年ほど前に加入しましたので、何年前から行われていたかは定かではありませんが、かなり以前から行われていたものでしょうね。毎月一回大きな声で歌っております。会は、横田公民館の宮澤主事さんのご厚意によりましてギター伴奏で楽しく歌っています。前半は、六町会の柳澤さんの選曲による、懐かしの唱歌、歌謡曲等色々なジャンルの歌をギター伴奏により歌い、後半は、カラオケでそれぞれが得意な歌を声高らかに唱っております。お茶を飲み、会話しながら楽しいひと時を過ごしております。ただ、残念ながらコロナ以降、メンバーの高齢化にもよりますが、会の人数が少なくなり寂しい思いをしています。特に男性が少ない、なぜでしょうか。もう少し仲間が増えればと思っております。もっと人を集め、「横田混声合唱団を」結成し、文化祭などで盛大に発表したいものですね。そうなれば若さと楽しさがもっと増し、人が集まってくるでしょうね。

# 横田道祖神御開帳祭り

横田第五町会 岩垂三郎



横田道祖神は横田神社鳥居、東側に横田道祖神が安置されている。寛政11年(1799)横田村石工蟹沢利助(かにざわ)の作で道祖神と刻まれている。横田には木製のおまんらさまが10体あり戦前は三九郎を作るときに新嫁の家へ持ち回りご祝儀をもらったりした。現在は公民館に保管され公民館で正月1月14日に横田中で祭りお祝いをしている。道祖神の起こりは、各地区の辻や路地裏にたっている。道祖神は村境にあって外から襲ってくる悪霊(あくりょう)をおい払う役割を持つ神、堺を守る神、子供を守る神等いろいろな役割を持たされてきた、その上更に五穀豊穰、子宝繁栄縁結び、厄除け、魔除け、等多くの幸せを願う神として位置付けられ身近な神として親しみやすい神である。道祖神の嫁入り、江戸時代の終わりころ信州では道祖神盗みが各地で行なわれていた、これを道祖神の嫁入りという、村の若い衆達がかねて見当を付けておいた他村に出かけて道祖神をもってきて自分たちの地区に建てておいたり、盗まれた方でも余り問題にせず取り返に來たり他村からとって建ったりしたという。なお道祖神盗みは、「寒の神の嫁入り」とも言われ平和で豊かな村にあやかりたいと村の道祖神に結納金を送り祝儀まで行なつて村同志が話しあい、もらい受けた事も多いと伝えられている。道祖神には「道祖神」と刻まれた文字碑と「男女の像双体」を刻んだ道祖神がある。本郷地区では40体の道祖神が安置している。

公民館の出来事を振り返ると、かわら版に報告しましたが、公民館屋根西側で雨漏りが三箇所発生し再度原因調査及び対策などに苦労しました。雨漏り再発が毎回春先に集中していることで、今年春の状況が心配でもある。公民館の西側・東側・南側に防草シートを敷設実施したので、定期清掃で公民館外側草取りの面積が減り、少し作業が楽になったと思います。公民館行事のふる里祭りはコロナ感染で中止していましたが、今年度は横田公民館役員の皆様のご協力が無事に開催が出来たことに感謝いたします。公民館調理室収納棚の備品を整理、食品などで賞味期限が過ぎているものや、使えないものを処分、備品を有効利用出来るように整理致しました。公民館使用人員はコロナ感染の三年間は2500人から3000人で、令和5年度は2月までは3668人で回復はしていますが、コロナ感染前は6000人で推移していたのでまだまだ回復しきっていない。公民館活動は地域の交流起点であり、気楽に集まれるように町内の皆様の意見を募って活動などの改善につなげたいと思います。

## 4月の公民館活動

5日(金)・12日(金)卓球の会 午後1時から：男性も積極的にどうぞ

19日(金) 公民館部会役員全体会 午後7時から

20日(土) 公民館一日開放の日

24日(水) ふれあい健康教室 午前10時から 歌の会

午後1時から 卓球の会

28日(日) 横田公民館定期総会 午後1時30分から

状況により変更もあります。